

課題名: 露地ナス産地の生産安定

【評価できる点】

- ・初期投資の少ない露地ナスに絞った生産振興で、夏秋ナス出荷量が全国一になった。
- ・地域農業の実情を十分に把握しており、課題・支援対象の選定、解決手法、目標設定など、いずれも適切である。
- ・「ぐんまのナスブック」の配布や、栽培技術セミナー開催など効果的に取組んでいる。
- ・新規栽培者の掘り起こしと定着支援、研修会などを重ねた結果で、成果を上げている。
- ・農林大学校「ぐんま農業実践学校」と連携し、新規栽培者の掘り起こし。
- ・ナスの全体収量も増加し、IPM 導入も順調な点。
- ・支援の輪を広げることで支援を受ける農業者も安心感や満足感が高まり、高い成果をあげることができている。

【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望と対応策）】

1 課題や目標設定に関すること

- ・H29の栽培面積が9.9ha、生産者115戸となっている。単純計算でも1戸当りの栽培面積が10aを下回るようなので、生産安定のためにも栽培面積増加の目標もあったら良い。
- ・支援対象のJAや地域を整理するとわかりやすい。
- ・IPM導入農家戸数の目標設定値の見直し（上方修正）が必要ではないか。

2 活動内容に関すること

- ・ナスの作付けがすでに始まっている時期に、推進会議を行うのは遅いのではないか。